

平成28年度 学校自己評価結果(教職員対象)

☆総括 全項目平均 「3. 52」(昨年3. 35) (一昨年3. 4) (回答数11 管理職を除く)
昨年より0. 17上昇で向上が見られる。充分であると判断できる。

評価基準【 4:十分である、 3:おおむね十分である、 2:やや不十分である、 1:改善を要する 】

丹頂プランのもと学校教育目標の達成や学校経営方針の推進に向けて、少ない中でも全教職員が協働し、また、支え合いながら教育活動に取り組んだ結果が表れている。特別支援員、生徒支援加配の影響もあってかほぼ全項目で3. 2以上の自己評価となり、年度ごとの比較でも昨年と同等かそれを上回る評価点となっている。

評価が低かった項目は例年通り家庭学習の定着を図る指導や基礎学力向上のための指導で苦慮し、進路実現に向けての個々の生徒の意識の向上も今後の課題にあげられる。さらに、遠隔授業では、全教職員で関わりがもてる取り組みの検討が必要である。学校経営方針、および生徒指導はおおむね評価が向上している。これは少規模校ならではの、協働、互助の意識が評価されていると考えられる。

※評価点の高い項目(3. 2以上)は◎で示した。＜ ＞内は昨年()内は一昨年の値。

	平均				評価点
1 学校教育目標(一人一人を大切に、豊かな心の育成をめざす)					
① 夢と希望を持ち、意欲的に学ぶ心	◎3.3	3.3	<2.8>	(3.2)	◎3.5
② 誠実に協力し合い、人を思いやる心	◎3.6	3.6	<3.3>	(3.5)	<3.2>
③ 心身を鍛え、健康・安全に努める心	◎3.5	3.5	<3.3>	(3.1)	(3.3)
④ 地域文化と自然を愛する心	◎3.5	3.5	<3.4>	(3.3)	
2 学校経営方針					
① 自他の生命を尊重し、確かな学力を育む教育活動の推進	◎3.5	3.5	<3.1>	(3.1)	◎3.7 <3.5> (3.4)
② 家庭や地域、関係機関等と連携を密にし、信頼される学校へ	◎3.6	3.6	<3.6>	(3.4)	
③ 教職員の共通理解と実践で、いじめのない安全・安心な学校へ	◎3.8	3.8	<3.6>	(3.8)	
④ 特別支援教育の理解を深め、個に応じた教育の推進	◎3.8	3.8	<3.8>	(3.3)	
⑤ 服務規律を遵守し、学校経営参画意識を持つ教職員集団の構築	◎3.6	3.6	<3.5>	(3.5)	
3 学習指導					
① 学び方の指導や授業規律を重視し、基礎・基本的事項の徹底を図る指導に努める	◎3.5	3.5	<3.5>	(3.3)	◎3.4 <3.2> (3.1)
② 体験的な学習や個に応じた指導を重視し、学ぶ喜びを体得させる指導に努める	◎3.6	3.6	<3.6>	(3.4)	
③ 学習意欲を引き出す、シラバスづくりや、学習形態の工夫・改善に努める	◎3.5	3.5	<3.3>	(3.3)	
④ 家庭での学習習慣の定着を図る指導に努める	2.9	2.9	<2.5>	(2.5)	
4 生徒指導					
① 心のふれあいを重視した人間関係を基調とした指導に努める	◎3.5	3.5	<3.6>	(3.4)	◎3.7 <3.6> (3.5)
② ルールの必要性を理解させ、人としての在り方生き方を考えさせる指導に努める	◎3.8	3.8	<3.6>	(3.5)	
③ 生徒、保護者との連携を密にし、指導体制の充実に努める	◎3.6	3.6	<3.3>	(3.5)	
④ 情報を共有し合う態勢を整え、事故などの未然防止に努める	◎3.9	3.9	<3.7>	(3.7)	
5 進路指導					
① 各種行事を通して望ましい勤労観・職業観の育成に努める	◎3.5	3.5	<3.1>	(3.7)	◎3.5 <3.1> (3.6)
② 生徒理解に努め、個に応じた進路指導の実践に努める	◎3.6	3.6	<3.2>	(3.6)	
③ 資料整理を行い、情報提供及び必要な情報を入手できる環境づくりに努める	◎3.4	3.4	<2.8>	(3.5)	
④ 内外の各機関との連携を密にし、進路支援体制の充実に努める	◎3.6	3.6	<3.2>	(3.5)	
6 健康安全指導					
① 健康相談等を通して自ら進んで健康管理できる能力、実践力の育成に努める	◎3.3	3.3	<3.5>	(3.2)	◎3.4 <3.7> (3.5)
② 関係諸機関と連携を図り、計画的・効果的な保健指導や体力づくりの実践に努める	◎3.5	3.5	<3.6>	(3.5)	
③ 全教育活動を通して、自他の生命を尊重し健康安全に係る意識を高め事故防止に努める	◎3.5	3.5	<3.7>	(3.5)	
④ 清掃や奉仕活動等を通して、学習環境、地域環境を整備し美化意識の育成に努める	◎3.5	3.5	<3.8>	(3.7)	
7 事務部運営					
① 各分掌、学年、委員会との連携を図り、教育活動を支援する	◎3.7	3.7	<3.7>	(3.8)	◎3.7 <3.7> (3.6)
② 常に創意・工夫した事務改善を行い、学校事務の効率化を図る	◎3.8	3.8	<3.7>	(3.6)	
③ 適切な予算編成と計画的に予算を執行する	◎3.7	3.7	<3.7>	(3.6)	
④ 施設・設備の整備充実に努め、よりよい教育環境の実現をめざす	◎3.6	3.6	<3.6>	(3.5)	
8 遠隔授業					
① 個に応じた指導の充実(受信側教員の評価方法の充実)に努める	◎3.5	3.5	<3.5>		◎3.5 <3.4>
② 学習の選択幅の拡大(他教科への導入の研鑽)に努める	◎3.4	3.4	<3.2>		
③ 指導力の向上に努める	◎3.5	3.5	<3.3>		
④ 教員の資質向上に努める	◎3.7	3.7	<3.4>		
9 丹頂プラン(の推進・実現状況)					
<目指す学校像>					◎3.6 <3.4> (3.4)
① 学ぶ喜びのある 学校(社会に適用する力)	◎3.4	3.4	<3.2>	(3.2)	
② 仲間と成長できる 学校(コミュニケーション力)	◎3.5	3.5	<3.4>	(3.2)	
③ 安心した生活ができる 学校(落ち着いた学習環境)	◎4.0	4.0	<3.6>	(3.6)	
④ 地域から信頼される 学校(地域と共に発展)	◎3.4	3.4	<3.3>	(3.5)	
<目指す生徒像>					3.1 <3.0> (3.2)
① 当たり前の実践ができる 生徒(挨拶やマナー)	◎3.3	3.3	<3.3>	(3.3)	
② 社会に適用する力を持つ 生徒(基礎基本の学力)	2.8	2.8	<2.8>	(2.8)	
③ 自立精神と積極性を持つ 生徒(進路実現)	3.1	3.1	<3.0>	(3.3)	
④ 地域への貢献ができる 生徒(地域の文化や自然)	◎3.4	3.4	<3.0>	(3.2)	
<目指す教師像>					◎3.5 <3.4> (3.5)
① 生徒を愛し共に伸びる 教師(愛情)	◎3.6	3.6	<3.5>	(3.6)	
② 目標達成に向け邁進する 教師(実践)	◎3.5	3.5	<3.4>	(3.6)	
③ 保護者や地域から愛される 教師(信頼)	◎3.5	3.5	<3.4>	(3.4)	

※成果・課題・改善の方策等の意見については裏面に記載。

成果・課題・改善の方策等の意見

1 学校教育目標

- ・夢や希望があるかは分からないが学ぶ意欲はある。

2 学校経営方針

- ・教員間の連携が良く、いじめについても悪質なものに発展する前にチームで解決を図る事ができた。

3 学習指導

- ・基礎学力の定着、生きる力を学ばせる
- ・家庭での学習習慣の定着が困難な生徒に対しては学校で学習させるような環境になっている。

4 生徒指導

- ・身だしなみ、頭髪などは分掌を問わずに職員全体で共通認識をもって指導していきたい。
- ・生徒一人一人に対して、各教員が多方面に関わり指導できている。

5 進路指導

- ・早期の進路目標の確定。

6 健康安全指導

- ・自己管理の徹底

7 事務部運営

8 遠隔授業

- ・研究指定も終わるため、次年度の実施や教科、評価方法が課題である。
- ・特定の先生だけではなく全体で実施する意識が必要。

9 丹頂プラン（の推進・実現状況）

- ・個々の生徒に色々な経験のできる場面の設定。
- ・物事の考え方を身につける。
- ・目指す生徒像②について、勉強部があり上位層を伸ばす取り組みが充実している。一方で中学校段階の学習も難がある下位層の生徒に対し、学習意欲を引き出し、基礎基本を身につけるような取り組み、体制づくりが欲しい。

10 その他

- ・全体の学校経営がとらえやすいように、重層構造的に学校経営構造図があればと思います。(評)
- ・学校教育目標はいろいろな背景を分析しながら決定されたと思います。その実現に向けてそれぞれの教育の場、中でも学年・学級の中での努力が大切かと思っています。そのためにも学年ごとの重点指導目標（発達段階をとらえて）が必要かと思っています。(評)